

令和5年度北方領土ゼミナール（結果概要）

全国の大学生等を根室市に招聘し、北方領土問題に関する講義及びグループディスカッション等を通じて、北方領土問題を正しく理解してもらい、意識を高めることにより、返還運動の後継者を育成することを目的として実施しました。

1. 事業の概要

- (1) 日 時：令和5年9月12日（火）から14日（金）まで
- (2) 場 所：北海道根室市（納沙布岬、北海道立北方四島交流センター）
- (3) 参加者：大学生等34名（北方領土返還要求運動都道府県民会議推薦）

2. プログラム

時間	プログラムの内容
9月12日（火）	オリエンテーション
9月13日（水）	北方領土現地視察（納沙布岬、北方館）、元島民（角鹿 泰司氏）による講話、学識者（兵頭 慎治氏）による講義、事前学習の振り返り、グループワークショップ
9月14日（木）	来賓挨拶、企画書の発表

3. 実施内容（ポイント）

(1) 元島民（角鹿 泰司氏）の講話



講師の角鹿泰司氏から、参加学生に対して、「今、当時の状況を知っている元島民は少ない状況である。北方領土問題は元島民だけの問題ではないという認識を身につけてほしい。」とのメッセージを送りました。

(2) 学識者（兵頭 慎治氏）による講義

講師の防衛省防衛研究所研究幹事の兵頭慎治氏から、参加学生に対して、「ウクライナ戦争後の日露関係と北方領土問題の展望」をテーマに講義を行いました。講義に触れた学生から、「北方領土問題は他人事ではないという意識が芽生えた。」、「北方領土返還要求運動に関する事後活動をしたい。」との感想が聞かれました。



(3) グループワークショップ



グループワークショップでは、SNS 活用の企画書を作成し、「若年層に北方領土問題の関心を広げることが北方領土返還要求運動につながる。」といった意見や「若年層に対して北方領土を身近に感じてもらえるように、北方領土隣接地域の魅力をアピールする SNS 案」といった様々なアイデアをまとめました。